

# まち&街

NPOニュース No.12  
2023年11月・12月



発行: NPO法人 鹿島田・新川崎まちづくりの会

理事長: 大野彰 連絡先: 佐藤好行 080-1225-6411

## 鹿島田・新川崎駅タクシー利用改善要望

### 臨港バス減便問題で川崎市と話し合い

10月24日、私たちNPOは交通アクセス改善について川崎市まちづくり局と話し合いました。

## 臨港バス川60・川61系統は11月から増便

コロナ禍を理由に1日26便あったバスが、たった1便になってしまった川60・川61系統ですが、11月1日より一日2便に増えました。市からは「2024年運転手の労働時間規制で人出不足が深刻。地方によっては路線廃止している。増便されたことで行って帰ってこれるようになった。バス事業者とは年に1回の会議を開いているが増便要望は伝えていきたい」と説明がありました。

## 新交通システムの可能性は？

デマンド交通(予約による乗り合い送迎サービス)「チョイソコかわさき: 中原区」や「のるーとKAWASAKI: 川崎区」などの実証実験を企業が行っていますが、幸区では計画がありません。縦長の川崎市で横方向ルートの利便性を高める手法として期待されます。

## タクシー利用改善

「鹿島田駅から新川崎寄りの道路に切り欠きで幅を広くしており、車乗降ができる。新川崎駅UDタクシー以外の乗り入れを許すと前のように道路に車が溢れる心配がある」とのことです。南武線高架計画と合わせて改善を考えましょう。



## 街のつぶやき

毎朝、健康のため野菜ジュースを飲んでいる。妻の手作りで約1週間分まとめて作ってくれる。この夏は凄い暑さであった。その為か野菜が高い。特に栄養価が優れているといわれ必ず入れているブロッコリーが高い。地球沸騰化といわれた。全世界で異常気象である。脱炭素をすすめないとなすすまます災害が発生する。個人で対応するには大きすぎる。太陽光発電等でエネルギーをまかない火力発電は止めて欲しい。原発は1度事故が起れば大災害だし核のゴミは溜まる一方だ。地産地消のエネルギーが広がってほしいと切に思うこの頃である。

鹿島田在住 M.N



## 川崎市の新しい取り組み



小田原産木材を使用したベンチ  
(生田大橋バス停)

# バス停に木製ベンチの設置

## 幸区でも要望を出してみませんか？

昨年度、川崎市内12ヶ所のバス停に木製ベンチを試験的に設置されました。小田原・箱根の木材を活用したベンチで、町内会・自治会が維持管理する前提です。川崎市は「まだ半年の検証だが現状では問題は無く、町内会で管理をしている」としています。多摩区では5ヶ所に設置されましたが、幸区では1ヶ所（ロクゴ前）だけでした。次の取り組みがあるのか未定ですが、地域からは「日吉小学校前バス停にベンチが欲しい、屋根も欲しい」などの要望が出ています。また、臨港バスなど民間のバス停では住民が勝手にイスやベンチを置いている、いわゆる「勝手ベンチ」があり、勝手ベンチの置き換えについて、今後検証を進めながら検討したいとのこと。

## 出演者募集中！2月10日(土)を予定

# 音楽とまちづくり講演会

日時：2月10日(土) 午後2時～4時

場所：新川崎・鹿島田駅周辺整備事務所(未定)

参加費：500円(当日受付、高校生以下は無料)

- ①音楽演奏(出演者募集中) ②南武線開かずの踏切解消、報告と意見交流  
③まちづくり講演会「人間の顔をしたまち」 サブテーマ「環境にやさしいまちづくり」



## 7月22日(土) コカリナ演奏と まちづくり講演会を開催しました

ハンガリー生まれの木製楽器演奏のあと、「誰一人とり残されないまちづくり」をテーマにした講演で「誰もが安心して歩けること、伸び伸びと語り合えるまち」、「子供達の新鮮な意見をまちづくりに生かすことが大切」との話が印象的でした。



--- 2023年度かわさき市民公益活動助成金事業 ---

7月22日コカリナ演奏の様子